



樹妙だより

No.180 2020/2.3



鏡開きでの「居合抜き演武」

慈 悲 喜 捨

2月3日は節分です。節分は季節が移り変わる日とされ、立春・立夏・立秋・立冬の前日で、四季に応じて1年に4回あります。しかし、日本の旧暦では、立春が1年の始まりとされていたことから春の節分を指すようになりました。

立春（2月4日頃）が新年ならば、立春前日の節分（2月3日頃）は大晦日（おおみそか）です。新年を災いなしで迎えるための厄払いは大晦日に行われていましたが、その名残（なごり）で、今でもお正月の初詣に厄払いをする風習があります。

節分と言えば豆まきですが、古文書によると、平安時代の宮中で、旧年の厄や災難を祓（はら）い清める「追儺（ついな）」のための行事が、室町時代になって豆をまいて悪鬼を追いつく行事として民間に定着していったということです。

豆は、「魔滅（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があります。その由来は、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げて鬼を退治したという逸話が

あり、「魔の目（魔目＝まめ）」に豆を投げつけて「魔を滅する（魔滅＝まめ）」という意味があるということです。また、鬼がはいている虎のパンツは、「鬼門」に由来し、「鬼門」は鬼の出入りする北東の方角で、十二支では「丑（うし）」「寅（とら）」の方角にあたります。そのため、鬼は「牛（丑）」の角をもった姿で、「虎（寅）」のパンツを身に付けているとされています。

豆まきは炒った豆で行いますが、それは、生の豆を拾い忘れると芽（魔目）が出て縁起が悪いと言われていたからだそうです。「炒る」は「射る」に通じ、大豆を炒ることで鬼を封じ込めるといふ意味があります。そして、その豆を食べることで鬼を退治したことになると言われています。

本校においても、毎年節分の豆まきをしますが、豆まきは、1年の始まりである立春の前に行われ、邪気を祓（はら）って、穏やかな日々が訪れるようにと願う先人の心と知恵が込められています。日本の伝統文化を大切にしましょう。

教頭 金安伸一

ヘレン・ケラーの言葉



樹徳中学校・高等学校長
野口秀樹

2月に入りますと高校3年生は自宅学習に入ります。進路が決まった者は、新しいスタートのための準備の大事な期間、中には群馬県独自の事業「ようこそ先輩」、自分の卒業した小学校へ正式な手続きを経てボランティアに行く者も十数名、そして進路決定に向けて、今、大学受験に取り組んでいる者沢山おります。高校生としての総仕上げの時、丁寧に進んでいくのであります。間もなく巣立っていく3年生、18年間の中でどんな方達の影響を受けて育ってきたのでしょうか。一人一人に聞いて見たい気持ちがします。

中学生には積極的に偉人の伝記を読むことを勧めています。年代的な事は様々ですが、自分の知らない所で道を切り開いてきた人達の生き様、挫折があり、涙があり、感動があり、感謝があり、子供達の心を豊かにしてくれるからです。この感情は読み手の生徒自身から、わき起こるのです。教師や親などの他者からの影響ではない特別な素晴らしさがあります。

高校生は勿論読んで欲しいですね。

私が偉人伝を求めて読んだ年代は40代から50代です。未だに読み返したり、魅力を感じる方の伝記を読み続けております。日本経済新聞の「私の履歴書」を毎朝読んで、今を生きる先輩方の生き様に刺激を受けております。

「幸福の扉の一つが閉じると、別の一つが開く。しかし、私達は、閉じた方ばかりを眺めていて、こちらに向かって開かれた、もう一つの扉に気付かない。」これはあの有名なヘレン・ケラー（1880～1968）の言葉です。

私の年代の人達は彼女の事をみな知っていて「奇跡の人」と呼んでおりました。見えない聞こえない話せない三重苦の女性。サリバン先生との出会いで別人になっていく彼女が忘れられません。残した言葉は素晴らしいものばかり、思い上がって見失った自分を、いつも取り戻させてくれました。

こんな言葉もありました。「自分でこんな人間だと思ってしまうと、それだけの人間にしかなれ

ないのです。」

自分で自分を見限ってしまう、こんなにもったいないことはありませんね。

次の文章は奇跡の人ヘレン・ケラーについて書かれたもので、著者はフレーザー・ハント、タイトルは『見えない目』、『レッドブック』に掲載された記事です。

「7月のある日の午後、カナディアンロッキーにある私たちの牧場で、私は馬に乗りヘレン・ケラーの小屋へ向かっていた。美しい森を貫いて馬車道に沿って馬を走らせていた。その道筋にはヘレンが森を一人歩きする時のために一本のワイヤーが張られている。

ちょうど道を曲がった時、ヘレンがこちらに歩いてくるのが見えた。

永遠の闇と沈黙の牢獄に閉じ込められて生きる運命を背負ったこの女性は、晴れやかな表情できびきびと小径を下ってきた。その間私は動けなかった。

ヘレンは森の中から私の目の前の陽光が差し込む開けた場所に出て来ると、ヤナギの木立の側に立ち止まった。

そして、花をひと摘みすると、その香りを胸いっぱい吸い込み、見えない目ではっきりと太陽を見上げ、素晴らしい訓練を積んだ唇でたった一言『きれい！』と発音した。それから微笑みを浮かべたまま、私の前を通り過ぎた。

私は自分の無力な目から流れた涙をぬぐった。この素晴らしい高地に私は何の美しさも感じていなかったと思う。原稿が出版社から突き返された苦い思いで、感じていたのは挫折感だけだった。

森や空や山々の魔術を見ることのできる目と、小川のせせらぎや木々をわたる風の音を聞ける耳が私にはある。

私に美しさと勇気を教えてくれたのは、見えない目と聞こえない耳を持つ、この並外れた素晴らしい女性であった。」

ヘレン・ケラーの映像が目には浮かんだと思います。

私達が生まれたときから授かってきた自分の可能性、磨き出さねばもったいない。自分の人生のためにも、社会のみんなの為にも。 合掌

I A Cの歳末助け合い募金 105万円を納金！

『歳末助け合い募金活動を終えて』

インターアクトクラブ会長
3年S2組 高野寧花



令和元年12月1日から23日までの間、私たち樹徳高等学校インターアクトクラブは、歳末助け合い募金活動を行いました。

募金活動は、校内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店、境野店さん前で行いました。約1ヶ月にわたる活動で、お預かりした浄財の総額は105万3816円となりました。お陰さまで、多くの方々から浄財をお預かりすることができました。

ご支援いただきました方の中には、毎年私たちが活動している事を覚えていて下さり、この日のために一年間蓄えた多額の浄財を募金して下さいました。

私たちは今年の歳末助け合い募金活動を担当し

ていますが、これは過去の先輩方の活動が街の方々の記憶に残り、ご支援いただいたものと感じ、改めて多くの方々に支えられている活動であると感じました。

なお、お預かりいたしました浄財は昨年12月24日に、全額、桐生市社会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からお寄せいただいたご支援が、それを必要とされる方々に届けられることで、地域の福祉の一層の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただいた、皆様のご支援に改めて感謝申し上げますと共に、今後ともこの活動へのご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。 合掌



桐生市社会福祉協議会への納金

新年の各行事、今年も華やかに

□センター試験出陣式

新年を迎えた1月16日、大学入試共通テストへの移行に伴う最後のセンター試験を前に、毎年恒例の出陣式が行われました。3年間培ってきた学びの全てを胸に、いざ出陣です。



センターへ、いざ出陣！

□校内書き初め大会

1月9日、校内書き初め大会が盛大に開催されました。「書き初め」を通じて、健全な心身と豊かな心情を養い、併せて伝統文化への理解を深める新年恒例行事です。

□鏡開き

鏡開きとは神仏に感謝し、お供え物を頂くことで、1年間の無病息災などを祈るものです。

今年は1月17日に居合道・心神無想流の先生方をお招きし、「居合抜き演武」をご披露いただきました。

その後、甘味処大野屋さんと家庭科部の生徒が各運動部の活躍を願い、おいしいお汁粉を振る舞いました。



山本・安藤先生による三人居合道



お汁粉も美味しく頂きました

人は長い生涯の中で必ず自分の人生に大きな影響を受ける「師」に出会うものです。もちろん「師」は直接会う人間ばかりではなく、書物や間接的なものであったりすることもあります。対象がどのようなものであれ、その時に得た感動はいつまでも忘れることがなく様々な場面でフラッシュバックのようによみがえっては自分の行く方向を指し示してくれるものです。

私はこれまで多くの人と出会ってきましたが、どうしても忘れ得ぬ二人の人物がいます。一人は高校2年生の時の数学の教科担任です。私は教師になろうとは思っていませんでしたが、この先生の影響を受けたから数学科へ進んだと言えます。私が樹徳高校に勤め始めた頃、偶然に両毛線内で再会することができました。先生は太田市にある進学校の教頭をされているとのことでした。その先生にとって私などは何の印象もない生徒だったと思いますが、常に物腰がやさしく、紳士であり、どんな時に尋ねても嫌な顔ひとつせず、むしろ嬉しそうに質問に答えてくれた姿勢はまったく変わっていませんでした。色々な事情で教職に就いた私ですが、いつしか自らの教師としてのスタイルはその先生を目標と考えていたこともあって、その時はわざとらしくて口にはしませんでした。心の中では感謝と感激でいっぱいでした。

もう一人は雪が降る季節になると思い出す私の息子が出会った、私にとっては顔も名前もわからない人です。

もう十年以上も前のことになります。雪の降る深夜、新幹線で帰省の途にあった当時大学一年生であった息子から、最終電車もないので迎えにきてほしいという連絡があった。指定された所は群馬の最北の駅であり、しかも深雪という悪条件がくっついている。どうやら居眠りをしている間にそこまで連れて行かれたらしい。幾分煩わしさもあったが、そうも言っていられない、家内にせかされ出発しようとする、また連絡が入り、迎えの場所は「高崎駅」に変更となった。理由はわからなかったが、最北の地よりは条件は良くなったので唯々安堵した記憶がある。さて、

一時間ほど後、駅で数ヶ月ぶりに会った息子はよほど嬉しかったのか妙に興奮して饒舌になっていた。その話の内容はおおよそ次のようなものであった。自分と同じように寝過ごしてしまった四十代前半くらいの男の人が、タクシーを呼んだので高崎駅でよかったです。君も乗ればいいと誘ってくれたそうである。タクシー代も半分で済むと、息子にとっても渡りに船のような思いで同乗させてもらったとのこと、車内ではありふれた世間話をしたが、その人は明らかに年下である息子に対しても終始丁寧な口調であったのでそれだけでも好感度は高かったのだが、更なる感動は高崎駅に到着してからになる。息子がタクシー代金の半金を差しだそうとすると、「私は一人でもタクシーで帰るつもりであったので、代金は私が払うから心配しなくてもいい。だいいち学生の君に負担させようなどと、はじめから思っていない。」それでも高額のタクシー代金に少しでも負担をさせてほしいと頼むと、その後の言葉が実に洒落ている。「それではこうしよう。やがて君が就職して今日の君のように困っている学生を見たら私のようにしてやりなさい。それが約束できるならそれで私は十分だ。」せちがらい世の中によくもこのような人がいたものである。

人から受けた恩を直接その人に返すのではなく、別の人に送ることを「恩送り」というそうだが、あれから十年以上たって「恩送り」ができたのか否かは聞いてはいない、しかし少なくとも息子にとって大きな転機になったことはその後の大学生活でよくわかる。

人は一生のうちに何万、何十万という人と出会うでしょう。そしてその中で多かれ少なかれ影響を受けたり恩を受けたりします。そして、苦境のときの援助ほど身にしみるものは有りません。今の自分があるのはあのときのお世話になった人たちのお陰かも知れません。

息子にはいつまでもあの時の感動を忘れずに生きてほしいと思っている。（狩野 剛）

一貫校 中学校 だより

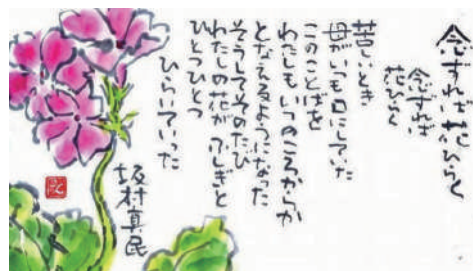
◆先人の教えから 念ずれば 花ひらく

一年間の振り返りを そして 新たな目標を

数年前、東京の丸の内にある相田みつを美術館を訪れた時に、相田みつを生誕90周年を記念して「坂村真民(さかむら しんみん)と相田みつをの世界」という企画展が行われていました。相田みつをさんも、坂村真民さんも、人間の生き方を鋭く問う多くの歌を残した癒やしの詩人としてよく知られています。「にんげんだもの」の相田みつをさんと「念ずれば花ひらく」の坂村真民さん、二人の作風は多少異なっているように感じましたが、それぞれ独自の世界観を持つ二人のコラボレーションを楽しむことができました。

「念ずれば 花ひらく」は、坂村真民さんの詩の一節に出てくる有名な言葉です。

「念じる」という言葉には「実践する」という意味があり、何事も一生懸命に(祈るように)努力をすれば、おのずから道は開ける、夢や目標がかなうという意味がこめられているということです。念じていれば、願っていれば(神頼みで)夢がかなうという意味ではなく、そこには、日々の実践がなければなりません。確かに、「念」という字を分解してみると「今」と「心」になります。「念」とは、「今」の「心」であり、言い換えれば、今、目の前にあることに一生懸命取り組むことなのだと思います。「念ずれば、花ひらく」という言葉の裏には、今を大切に生きていくことという教えがあるように感じます。



令和元年度も、あと2ヶ月余りで終わります。

生徒一人ひとりが、年度はじめに立てた目標にどれだけ近づけたか、達成できたかを振り返る時期でもあります。年度の節目にあたり、生徒のみなさんには、一年間の取り組みをしっかりと振り返り、新年度に向けて新たな目標と決意を持ってくれることを願っています。そして、これからも、自分の目標を見据えて、「今、自分にできることを確実にやり続けること」、「目の前にあることに一生懸命に取り組むこと」を大切に頑張っていってほしいと思っています。

保護者の皆様には、この一年間、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。来年度も、親と教師が、しっかり思いを伝え合い、生徒一人ひとりのさらなる「飛躍」「幸せ」を願って、連携、協働できるよりよい関係をさらに築いていけたらと思っています。

生徒に伝えたい「しんみん五訓」(坂村真民さんの語録から)

クヨクヨするな フラフラするな グラグラするな ボヤボヤするな ペコペコするな
(副校長 澁谷)

◆たくさんの方の協力で大成功！

音楽定期演奏会

12月21日、音楽部の定期演奏会が行われました。歌あり、劇ありの盛りだくさんの内容でした。以下は音楽部部長、大塚葵さんの感想です。「今年も定期演奏会を無事に開くことができ、たいへんうれしく思っています。たくさんの方の先輩、同級生、先生方、保護者の方々のおかげで開けたことを感謝申し上げます。今年の演奏会は2部に分けて行いました。1部はディズニーメドレーなどの合唱を披露しました。スペシャルゲストで田島先生と一緒に歌ってくださったり、引原君が校長先生にバラを渡すなど趣向を凝らしたものにしました。2部はミュージカル『ウィキッド』をダ



イジェストでお送りしました。先生をはじめ、先輩方、支えてくださった全ての皆様のおかげでこの日を迎えられ、素晴らしい演奏会になりました。本当にありがとうございました。改めて、感謝申し上げます。」

◆ハイレベルな授業に挑戦！

WSL(優待合宿)

12月25、26日、伊勢崎青少年育成センターにおいてWSL(ウィンター・スペシャル・ラーニング)を行いました。成績上位者対象の優待合宿で、ハイレベルな授業を行いました。生徒たちは普段とは異なるレベルの授業を楽しんでいました。また「学習」のみならず、「集団行動」や「野外活動(焼き芋など)」を大いに楽しみました。自分達で作った焼き芋はとっても美味しかったです。



幼稚園だより

◆「自信～挑戦～意欲」確かな成長へ

正月もあっという間に過ぎ去り、厳しい寒さの続く2月を迎えました。園庭に出ると吐く息が白く厳しい寒さが続いています。が、「子どもは風の子」寒さに負けずに、園庭でサッカーや縄跳び、鬼ごっこにと元気いっぱい過ごしています。2学期には運動会やなかよし発表会等大きな行事を経験し、「できた喜び」が自信となっており、色々なことに挑戦する意欲が育ち、非認知能力等大きく成長した子どもたちです。その成長した姿を一層確実にして、進級や卒園の準備と総まとめの2・3月にしたいと思っています。

「我がものと 思えば軽し 笠の雪」〈室井其角〉

2月の平年は28日ですが、今年は閏年で1日多く29日です。この1日を仕事をする人は損をしたと思うし、商売をする人は得をしたと言います。同じ1日がこのように正反対なのは、日々の仕事を自分のものと思うか否かによるものと言えます。日々の仕事に精進し、子どもたちのために、得をした1日となる閏年にしたいと思っています。

◆「就学前にあって育てておきたい力」

子どもの言語は話し言葉から書き言葉へと発展していきますが、子どもは乳児期前半に笑顔と笑い声を獲得し、その力はコミュニケーションの土台となります。さらに乳児期後半になると、大人の指差しに反応したり「ちょうだい」「はい」というような言葉に合わせて物のやりとりができたり、リズムカルな言葉や歌に合わせて、大人と一緒に手や身体を動かすような「動作のやりとり遊び」など、「ことばの前のことば」の力を豊かにしていきます。1歳から1歳半頃を中心に一語文を獲得し、2歳半から3歳半頃にかけて、語彙が増えぐんぐん話しことばを豊かにしていきます。話し言葉の「一応の完成期」ともいわれる4歳頃になると、対話ができるようになる時期です。さらに5歳半ごろになると、手がかりを使いながら自らの経験を、ある程度すじみちをたてて、他者に伝えることもできるようになります。このように話し言葉が豊かになった時点で文字（ひらがな）を学習すると、その文字を使って、書きことばの世界への移行期に入ることができるのです。



マジックサイエンス「筒がなる（低学年）」

過度なまでの学習への期待感からでなく、この発達段階をふまえて、4歳・5歳において、「言葉遊び（ことばあそびうた）・文字遊び」の時間を設けて、週1回（30分）ことば遊びを中心に取り組んでいます。文字に興味を持つ4・5歳から文字学習に触れますが、自分の名前が書けるようになると、意欲的に取り組むようになり、就学後の学習活動にすーと溶け込む力が育つとともに、スムーズに幼稚園から小学校に移行できるのではと考えて、興味や意欲を大切にしながら楽しく取り組んでいます。

◆創造力をふくらませた 母の会「教養講座」

1月21日（火）に、母の会教養部会主催（企画・運営）による「教養講座」が遊戯室において開催され、親子で「サイエンスマジック」の面白さや不思議さを体験しました。前橋総合技術ビジネス専門学校の小島校長のユーモアに引き込まれ、①火の出ない花火大会②はずまないボール③筒がなる④めっちゃつめたななど、液体窒素を使っての各実験に子どもたちは釘付けになり、「あれー？ どういうこと？ なんでだー？ 不思議だー？」と大きな声を出し、目を輝かせていました。年中・年長さんは各実験を一人ひとりが体験し、その不思議さを実際に感じてビックリしていました。この「何で？ どうして？」の疑問から「もっとやりたい！」という意欲へ発展させて、創造力を大きくふくらませる時間となりました。園生活の中でも、この意欲的に感じることを体験を追求し、1年間のまとめとしてしっかり実践していきたいと思っています。母の会役員の皆様、素晴らしい「教養講座」をありがとうございました。

園長 瀬谷 茂



「しっぽとり鬼ごっこ」で遊ぶ



マジックサイエンス「くだけるばらの花」

令和2年度一入園児募集中ー

◎ ひよこ組（2歳児）・すみれ組（満3歳児）・もも組（3歳児）の入園を、3月いっぱい受け付けます。申込みは電話、または園までお越しください。

◎ 2月 7日（金）入園説明会

2月18日（火）体験入園

※連絡・問合せ

住所：桐生市広沢町三丁目4475

☎：0277-53-5571

ホームページ <http://www.jutoku.ed.jp/kinder/>

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	土	一般・ステップアップ入試 校内安全点検日		
2	日	一般・ステップアップ入試採点		
3	月	2/2 振替休日	節分会(中1) 進研学力推移調査(中2・3) 頭髪服装指導	節分会(大善寺)
4	火	マイトリー基金拠金日 一般・ステップアップ入試審査会	マイトリー基金拠金日 第三期入試願書受付(～7日)	読み聞かせ(西山先生)
5	水	授業料納入日(3年2・3月分) 第3回諸費納入日 2年ベネッセ大学入学共通テスト早期対策模試(～6日・8日)	授業料納入日	英語(全) 文字と数(年長)
6	木	県校長会	立志式	体育(全) 文字と数(年中)
7	金	3年一斉指導		入園生活説明会 母の会新年会
8	土	漢検③	第三期入学試験	
9	日	堀マラソン大会	堀マラソン大会	
10	月	一般・ステップアップ入試合格発表日 LHR 1年スキー教室指導 3年家庭学習開始 3年担任宛成績提出 学年主任会	朝礼	保育料納入日 リズム(全) 線(年少)
11	火	建国記念の日		
12	水	ベネッセ基礎力診断テスト 3年教務宛成績提出	中1・2スキー教室(～14日)	英語(全) 文字と数(年長)
13	木	後援会役員会④		涅槃会(大善寺)
14	金	卒業褒賞関係候補者選考会議 県私学保護者連合会理事会(健大) 関東高P連役員会(前橋テルサ)		お誕生会(2・3月生まれ)
15	土	涅槃会 数検②	ニュース時事能力検定 数検	
16	日			
17	月	朝礼 卒業成績会議	ミニマナーアップ運動	実習生受入(～21日) リズム(全) 線(年少)
18	火	1年スキー教室A班(～19日) 日私中高連常任理事会	早朝自主学習開始	新入園児入園体験日
19	水			お茶のお稽古(年長)⑦ 英語(全) 文字と数(年長)
20	木	1年スキー教室B班(～21日)		体育(全) 文字と数(年中)
21	金		三越アフターサービス	
22	土	第2回入学手続	入学説明会②	
23	日	天皇誕生日 英検③二次	天皇誕生日 英検③二次	天皇誕生日
24	月	振替休日		
25	火	制服アフターサービス	中学学年総まとめテスト(～27日)	ひよこ・すみれ組保育参観 ボール投げ教室 読み聞かせ(西山先生)
26	水	食育の日		もも組保育参観 設置者・園長研修会・臨時総会②
27	木	卒業式会場作成 大掃除		さくら組保育参観 英語(全) 文字と数(年長)
28	金	卒業式予行演習・予餞会 出欠統計提出 校内安全点検		たけ組保育参観 体育(全) 文字と数(年中)
29	土			

※ 3日は一貴校・幼稚園の校内安全点検日です

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

2・3月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生藤工芸」 主催 野村ナナ子さん
2/6 (木)、2/20 (木)、3/12 (木)、3/26 (木)
- (2) 七草ゼミナール塾 主催 上野文雄さん 2/18 (火)
- (3) 樹妙会役員会 3/12 (木) 17:30 ～



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

3月(智慧)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	日			
2	月	卒業式 卒業式後片付け (午後)	高校卒業式	安全点検日 リズム(全)・線(年少)
3	火	雛祭り 学年末試験(～6日)	高校学年末試験 (～6日)	ひな祭り お別れ遠足(わ鉄乗車と桐生が岡動物園)
4	水	マイトリー基金拠金日		お茶のお稽古(発表会) 英語(全) 文字と数(年長)
5	木	授業料納入日 スキー教室費用納入日 関東高P連拡大準備委員会	授業料納入日	お別れ会予行練習 体育(全) 文字と数(年中)
6	金	写真撮影 (1・2年) 市街地清掃 中高協会定例会(関東学園)	保護者による生き方教室	お別れ会・謝恩会 (保護者)
7	土		新入生・保護者学習課題相談会	
8	日			
9	月	朝礼 教科主任会⑨	中学範囲未到達生徒特別補習(～19日)	リズム(全) 線(年少)
10	火	日私中高連常任理事会 / 理事会・評議委員会		保育料納入日 茶臼山登山 読み聞かせ(西山先生)
11	水	防火避難・初期消火訓練②		英語(全) 文字と数(年長)
12	木	視聴覚教室② 第3回法人役員会	視聴覚教室② 中3保護者会	法人役員会③ 体育(全) 文字と数(年中)
13	金	担任宛成績提出 大学合格体験報告会	中1・2保護者会	
14	土			
15	日			
16	月	LHR 運営委員会⑥	朝礼	
17	火	学年別一斉指導 教務宛成績提出	ミニマナーアップ運動 グループワーク活動報告会	
18	水	制服アフターサービス 成績会議 三学期出欠締切 出席統計提出	三越アフターサービス	卒園式予行練習
19	木	第3回入学手続		第67回卒園式
20	金	春分の日		
21	土			
22	日			
23	月	終業式 大掃除	終業式 中学校卒業証書伝達式	卒園児預かり保育①
24	火	生徒春休み 奨学生審査会 部活動強化合宿開始	春期特別補習 (～27日)	卒園児預かり保育②
25	水	学籍整理・年度末事務 総務会		第3学期終業式(修了式) 卒園児預かり保育③
26	木	学籍整理・年度末事務 学年主任会議 教科主任会議 新入生進学クラスオリエンテーション		春休み (～4/7) 預かり保育①
27	金	学籍整理・年度末事務		預かり保育②
28	土			
29	日			
30	月	学籍整理・年度末事務		預かり保育③
31	火	学籍整理・年度末事務		預かり保育④

※ 3日は高等学校・一貫校の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく